



上原だより

渋谷区立上原小学校
校長 佐伯 孝司

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1310240>

リーダー/フォロワーとして「ともに学び ともに生きる」 校長 佐伯 孝司

【スポーツ・フェスティバル】

満面の笑みで駆け寄る1年生。手を広げて迎える6年生。スポーツ・フェスティバルの1年生の団体演技は大好きな6年生と一緒に始まりました。6年生は、シブヤ未来科テーマ探究の一環で4月当初から「1年生プロジェクト」として、1年生の笑顔が増えるように、自分たちで計画、実践、評価・改善計画、再実践…という小さなサイクルを回しながら活動して

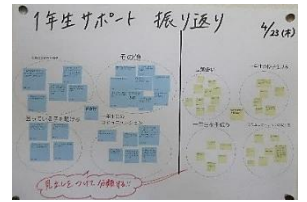
きました。自分は誰かの笑顔をつくれる、誰かの笑顔は自分も嬉しい、一緒に笑顔になる上原小を自分たちの力でつくる。学年を超えた交流、校庭に広がる笑顔が、次の活動の推進力、豊かな心の醸成につながってくれたらと思います。

5年生が、演技中に大漁旗を持って児童席の前を走っています。〈大漁旗が自分の前を通ったら立ち上がる→児童席にウェーブが起こる〉という演出でした。このように、演技する人と見ている人が一体になって盛り上がりようとする場面を全学年の演技に入れていました。演技をする者は、力いっぱい練習の成果を発揮する。それを見る者も、一緒に演技をつくる。しっかり見る姿が、拍手や手拍子を贈る姿が、演技者の力を引き出す。表現活動が一方通行ではなく、双方向に支え合い、高め合っ

て全体を盛り上げていく。そんな経験を積んでくれたと思います。これからも、「ともに学び ともに生きる」上原小学校を児童みんなで支え、高めてほしいと願っています。

児童の活躍は、演技や競技だけではなく、係活動でも6年生の活躍が光りました。役割を果たしたこと以上に、意味のあることだと考えています。「協力！全力！笑顔でGO！」という目標を共有し、その達成のために何ができるのかを考え、協働し、実現するというプロセスを自分たちで進める力を伸ばしています。

児童自身が全体をリードする姿も、頑張っている仲間をフォローする姿も見られたスポーツ・フェスティバル。そこにも児童自身が価値を見出し、これからも大切にしていってほしいと思います。



係の仕事の様子を掲示「6年生ありがとう」



保健係作成 熱中症対策を呼び掛けるポスター

【クラブ活動】

5月のさわやかな青空の下、屋上で長縄跳びを楽しむ児童がいます。今年度新設された「なわとびクラブ」の活動の様子です。4月のクラブ活動では、活動場所の問題があがりました。屋上での活動の実現までには、児童のたくさんの努力と工夫と協働がありました。

- ①活動場所の検討：体育館は大人数の他のクラブに割り当て/校舎裏とふれあい広場で縄跳びを試行も適切でない判断/屋上の利用を提案
- ②屋上調査：縄跳びをするのに適しているか・危険な所はないか…
- ③調査結果分析：安全に縄跳びを行う環境・ルールづくりのまとめ
- ④調査説明会：屋上での活動を可能にするための提案を関係者に説明→出された意見を踏まえて再度調査結果を分析、新たな対策を提案
- ⑤作業：縄跳びにより適した環境づくりのための作業実施
- ⑥最終確認→5月クラブ活動で屋上利用が実現

教職員一同、主体的・協働的に学びをつくる、学校生活をつくろうと願う児童の活動を一つ一つ大切に支え、応援していきたいと思っています。



屋上での活動が実現



説明会の様子
活発に意見・質問が
出され協議していました